



エイソウ 英祖王

(1229~1299)

英祖は浦添(ウラソエ)城を築城し、
琉球史上初めて、仏教を導入し普及に
努めた。彼の誕生時、母親が体内に太
陽が入る夢を見て英祖を身ごもったと
の言い伝えから、ていたこ(太陽の子)
の愛称を持つた。
現在の浦添市が「ていたこの町」と
呼ばれているのも、この逸話が由来と
なっている。

1日

1月

祝日

元日 成人の日



新春の宴 「朝挙御規式」



エイソオウ

英祖王

(1229~1299)

英祖は浦添（ウラソエ）城を築城し、琉球史上初めて、仏教を導入し普及に努めた。彼の誕生時、母親が体内に太陽が入る夢を見て英祖を身ごもったとの言い伝えから、ていだこ（太陽の子）の愛称を持った。

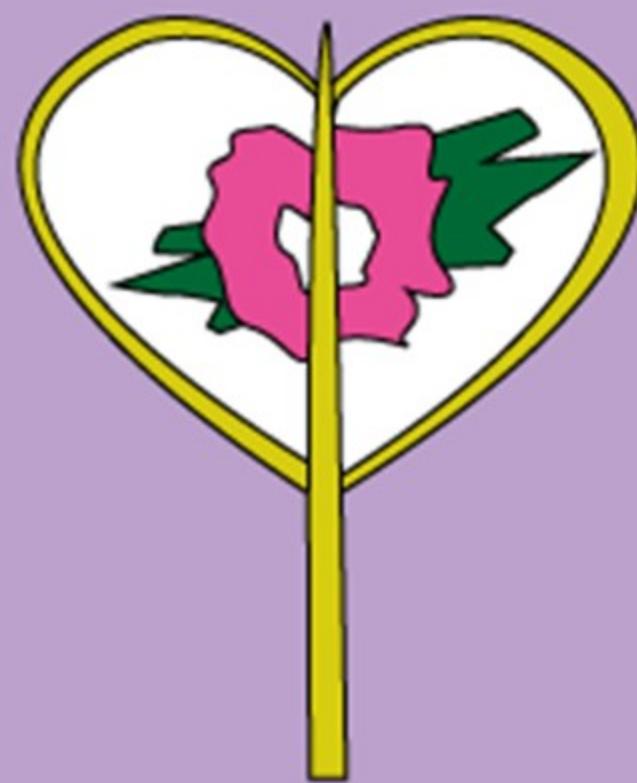
現在の浦添市が「ていだこの町」と呼ばれているのも、この逸話が由来となっている。

1月

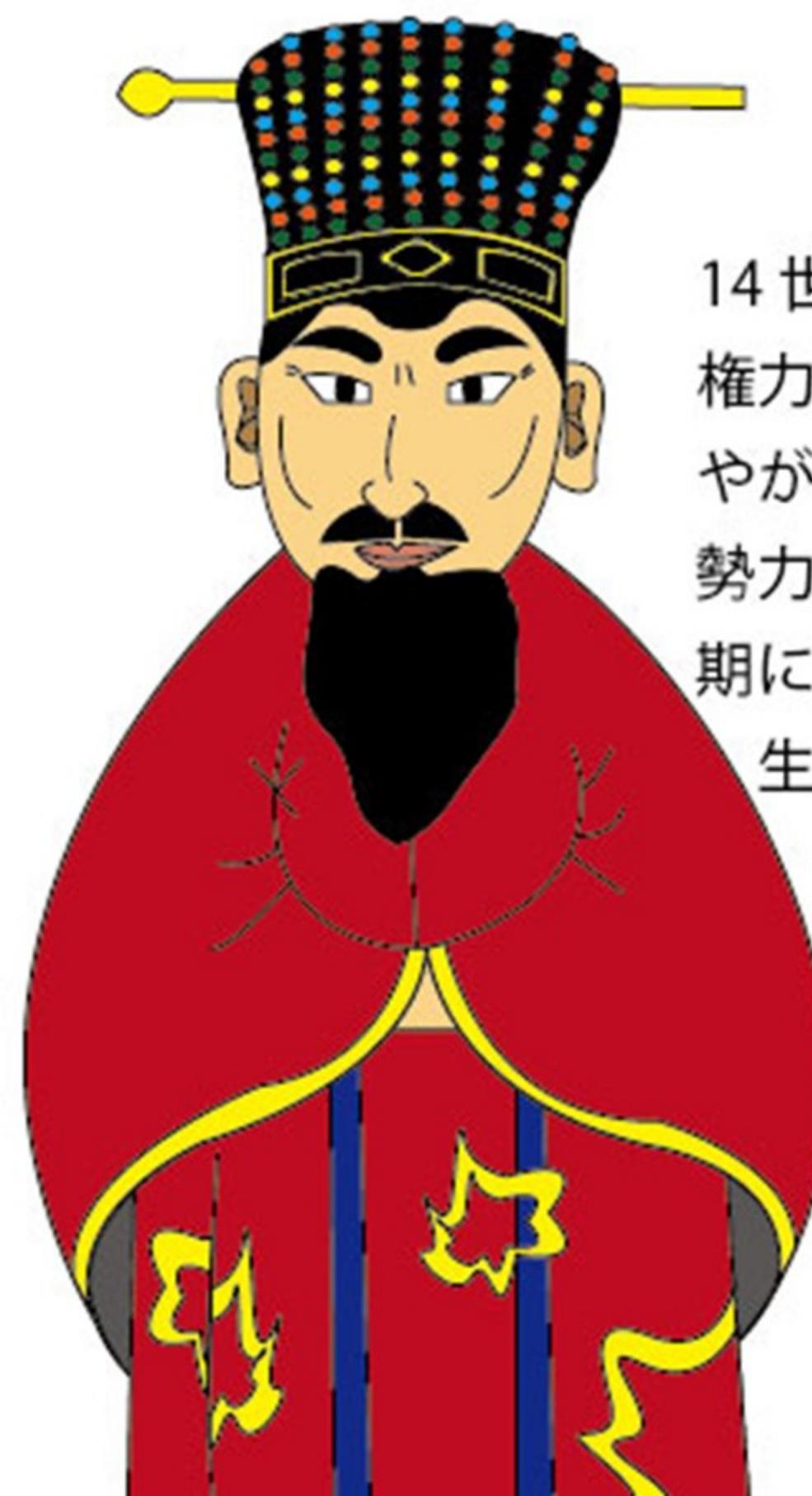
2月

祝日

建国記念の日 天皇誕生日



新春の宴 「琉球芸能の宴」



ショウハシ

尚巴志

(1372年～1439年)

14世紀ごろ、按司（アジ）と呼ばれる権力者がお互いに力を強くしていた。やがて南山、中山、北山と呼ばれる勢力に分かれ、「三山時代」という時期に入りました。1372年、尚巴志が生まれ、中山の按司であった父とともに中山、父の死後、南山と北山を滅ぼし、沖縄を統一しました。

2日

3月

祝日

春分の日



ホエールウォッチング



アマワリ

阿摩和利

(不詳～1458)

放浪者から天下人を目指した勝連の英雄、阿摩和利は出生や生い立ちについての詳細は分かっていません。

クモの巣を見て魚網を考案したり、貿易で勝連半島を富ませた知恵者でした。しかし、地域によっては真逆の人物像が伝わる、謎の多い英雄です。

4月

4月

祝日

昭和の日



ゆり祭り



5月

ゴサマル

護佐丸

(不詳～1458)

14世紀後半から15世紀前半にかけて活躍した、琉球戦国時代の剛勇。歴史の中には阿摩和利によって討たれた没年だけが記録されています。

琉球国は、14世紀初頭から15世紀半ばまでの百年間、「三山時代」が続いていました。護佐丸はまさに琉球史の中でも最も有名な戦国武将です。

5月

祝日

憲法記念日

みどりの日

こどもの日



那覇ハーリー



ショウエン

尚円

(1415~1476)

ある島でのちの国王の越来（ゴエク）王子の目に止まりその下で働き、絶大な信頼を得るようになります。

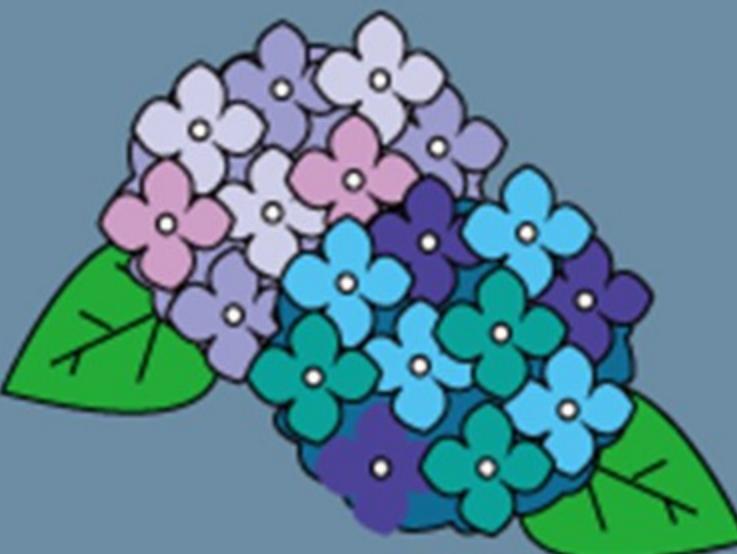
1453年、越来王子が国王となり尚円はその右腕として重要な役職を任せられました。その後、尚徳王にも仕え、王の死後、尚円が琉球国王になりました。

6月

6月

祝日

慰霊の日



よへなあじさい園



ショウシンオウ

尚真王

(1465~1527)

長期政権王朝の基盤を確立した名君。尚真王は、今から 500 年前に生まれ、わずか 13 才で第二尚家三代目国王の座に着きました。

50 年間の長期在位に渡り、琉球王国の最高権力者として君臨しました。尚真是、琉球の黄金時代を築いた名君として名を残しています。

8日

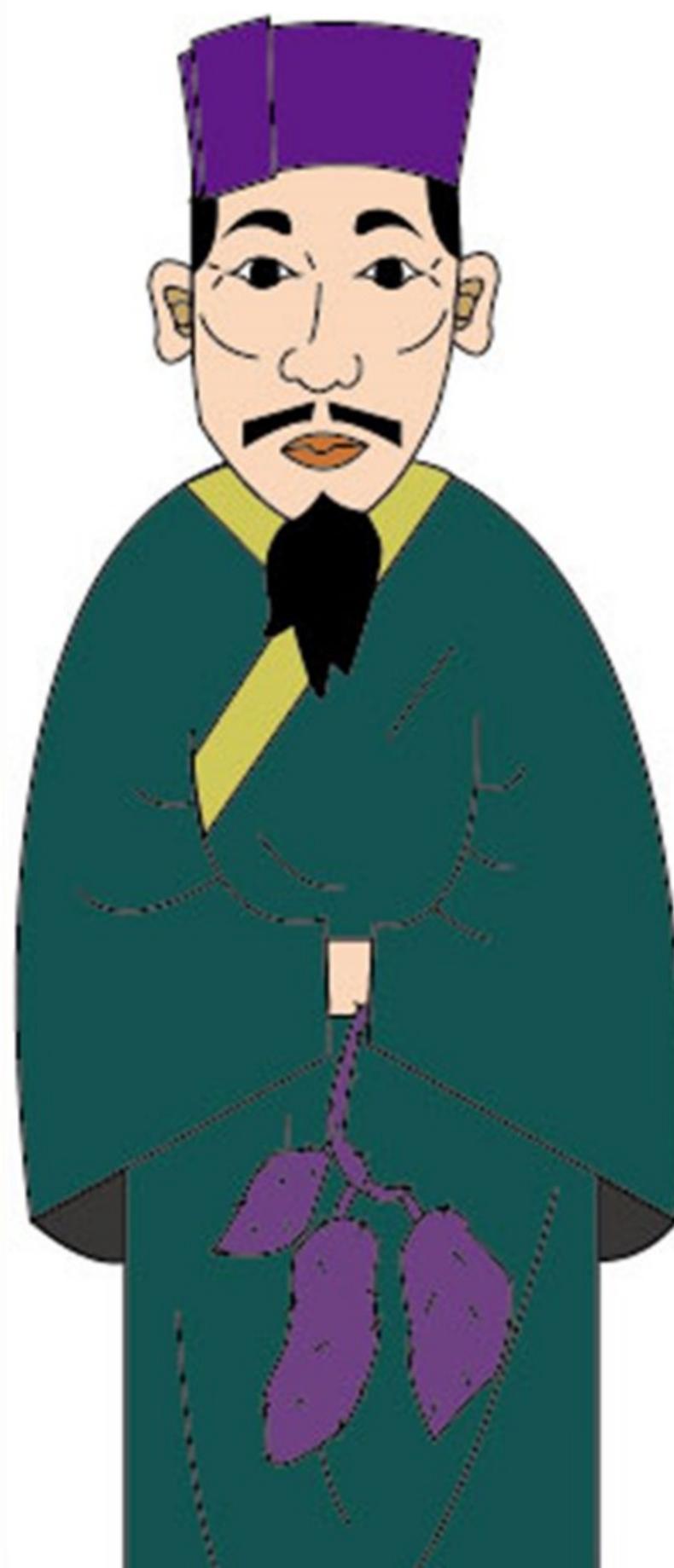
7月

祝日

海の日



サガリバナ



ギマシンジョウ

儀間真常

(1557~1644)

琉球国だけではなく日本の数々の難問
解決に貢献した産業開発者。

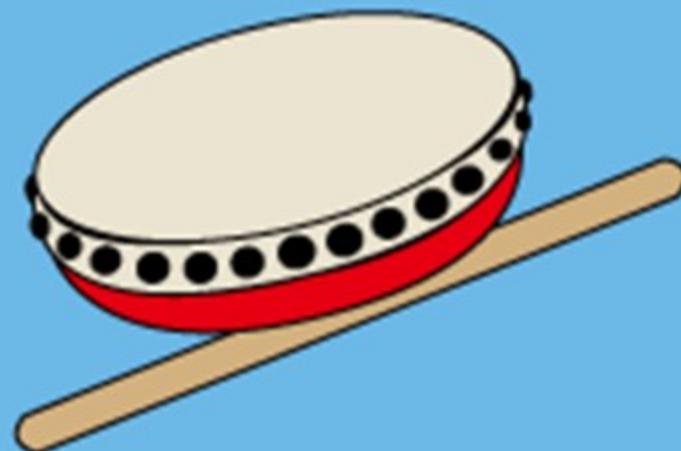
儀間真常はノグニソウカンが中国から
持ち帰った唐芋を主食として全国に普
及させ、それはのちに「サツマイモ」
と呼ばれ日本国の大食糧難を解決しまし
た。その他に、中国などで盛んだった
「黒糖」の作り方を琉球産業として取り
入れました。

10日

8月

祝日

山の日



エイサー パーランクー



セナガカメジロウ

瀬長亀次郎

(1907~2001)

第二次世界大戦後、米軍統治下の沖縄で唯一、弾圧を恐れず米軍に「NO」と叫んだ日本人がいた。

彼は「不屈」の精神で立ち向かった。その名は瀬長亀次郎。「アメリカが最も恐れた沖縄の男」と言われている。

27日

9月

祝日

敬老の日 秋分の日



シシマイ
獅子舞



ナゴウェエカタ

名護親方

(1663~1735)

17世紀後半から18世紀前半にかけて活躍した、国際的な教育家です。
(リクユエンギ)という、清王朝が国民の道徳書として、皇帝の名で出版した書物を作り、のちに琉球国のみならず日本全国に普及しました。
また、琉球初の学校「明倫堂」の建設を提言しました。

16日

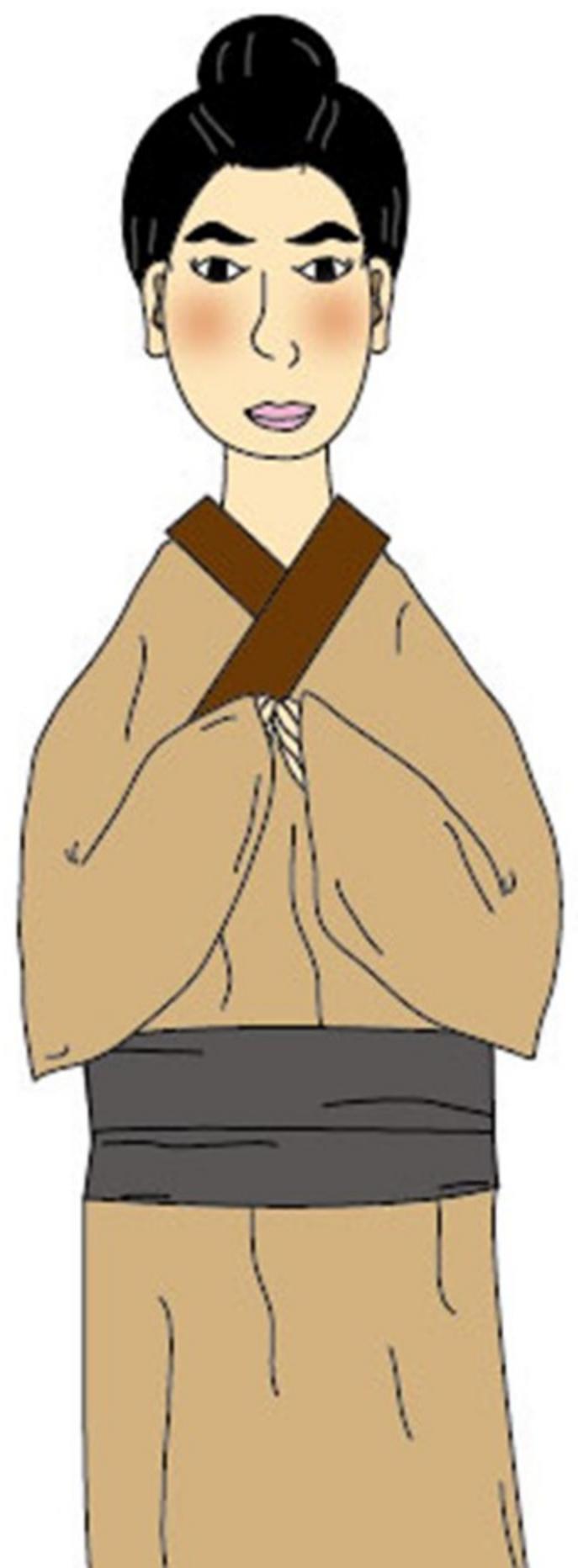
10月

祝日

スポーツの日



うるま祭り 「闘牛大会」



オンナナビ

恩納ナビ

(1700?~1800?)

18世紀、伸びやかで情熱的な愛を歌いあげた農村の女流歌人。詳しい生没年は分かっていない。当時の農民は個人の権利よりも上下関係を重んじるさまざまな制約の中で生きていたが、ナビは歌の中でそれらの束縛を皮肉ったり、恋人への思いを情熱的に歌ったりと、自由に優れた琉歌を作り、広くその名を知られていました。

20日

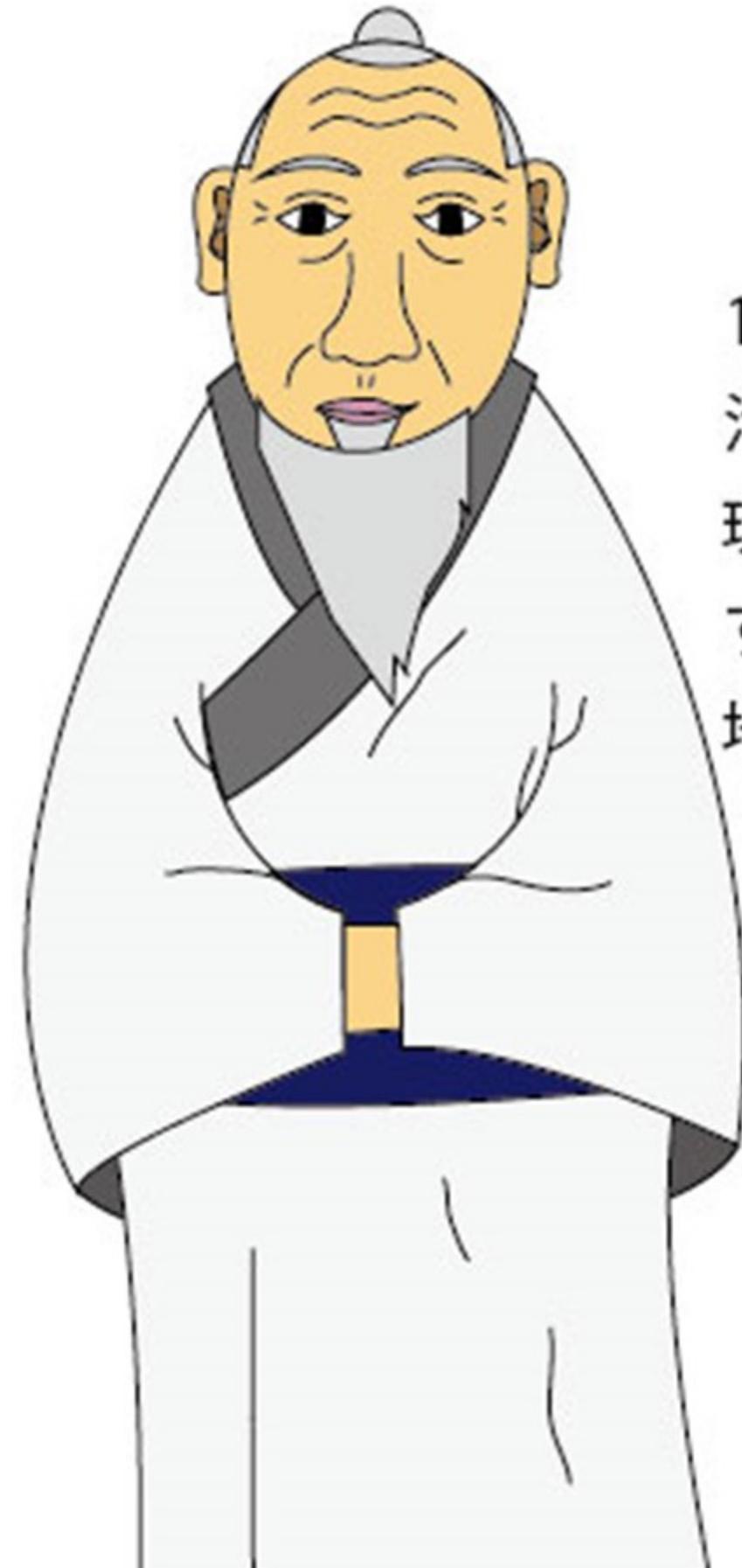
11月

祝日

文化の日 勤労感謝の日



首里城祭 「花がま」



サイオン

蔡温

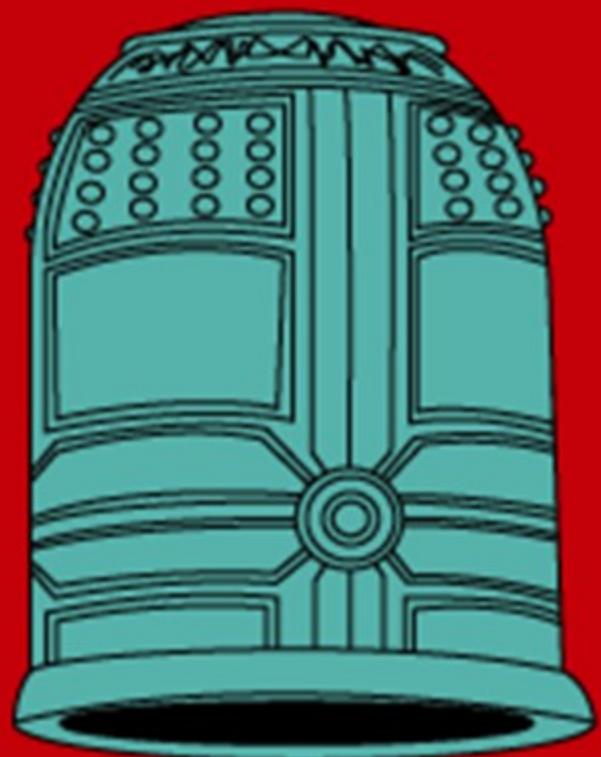
(1682~1762)

17世紀後半から18世紀後半にかけて活躍した、琉球が生んだ最大の政治家。琉球歴史の中でも最も有名な政治家です。1728年、琉球王朝の役人の最高の地位である三司官になった蔡温の才能は政治の世界だけではなく多くの分野にも発揮されています。蔡温は「ユイマール」を定着させました。

17日

12月

祝日



NAHA マラソン「万国津梁の鐘」



イハフユウ 伊波普猷

(1876~1947)

琉球の言語学者、民俗学者、歴史家です。沖縄学の創始者で「沖縄学の父」と言われる。

琉球の言語史、文化史の研究に貢献が多く、特に古謡集「おもろさうし」を中心に、琉球の古代史、古語、古俗を証的に研究した。

26日